



# StuffCenter

©1997, Tomohiko Shimizu as poch, ALL RIGHTS RESERVED.

ソフト名：StuffCenter 1.7.2 万能ファイル圧縮・解凍ツール (fat)

配付方法：メールウェア

転載方法：転載可 事前にメールにて許諾

作者：清水 友彦 / MHF00152

掲載者：同 上

動作環境：日本語を表示可能な MacOS 8 以上の PowerPC システム環境

StuffIt Engine 1 4.5 以上が必須

操作マニュアルは PDF 書類のため Acrobat 1 Reader が必要

開発環境：Power Macintosh G3 MT 266 (MacOS 8.5 日本語版)

開発言語：CodeWarrior IDE 3.1 (Pro3)

圧縮方法：StuffIt Deluxe 4.5 自己解凍タイプ

汚染対策：Norton AntiVirus 5.0.1

コメント：

ファイルを圧縮するには"DropStuff 1", 解凍するには"StuffIt Expander 1"を利用できるので便利なのですが、目的別にファイルをドロップしなければならず、ちょっぴり面倒を感じたりする場面があります。そこで、状況に拘ることなく、単にファイルをドロップするだけで圧縮・解凍を自動処理できる"StuffCenter"を開発してみました。

## 1. シェアウェアについて

StuffCenter はメールウェアであり、フリーウェアではありません。StuffCenter を継続して利用される方は、ご感想・バグレポート等を是非メール送って下さい。

「連絡方法」

現住所：〒143-0011 東京都大田区大森本町 2-4-2 0-1 3 0 5

電子メールアドレス：tomohiko@gol.com (インターネット)

MHF00152@nifty.ne.jp (NiftyServe)

ホームページ：http://www2.gol.com/users/tomohiko/

## 2. 留意事項

- 1) 非営利目的の転載、譲渡などは自由に行なうことができます。
- 2) 商業目的で配付、転載、掲載をなさる際は、出来るだけ事前にご連絡下さい。
- 3) 本ソフトに係る著作権は作者自身に帰属しますので、通常の方法で保護して頂くようお願い  
します。
- 4) 同ソフトを使用したことにより生じた損害に関しては、一切責任を負うことはできません  
ので、予めご了承下さい。

1997,1998 Tomohiko Shimisu as pooh,ALL RIGHTS RESERVED.

### 3. セットアップについて

#### 1) インストール方法

システムフォルダ内「機能拡張」フォルダに "StuffIt Engine Ⅰ(バージョン 4.0 以上)"がインストールされていることを確認して下さい。



"StuffIt Engine Ⅰ"は、"StuffIt Deluxe™ 4.0"以上、"DropStuff w/EE™ 4.0 Installer"以上"いずれかの圧縮ソフトをインストール(いずれもレジストレーション済みのもの)することにより利用することが可能となります。

"StuffIt Engine Ⅰ"がサポートする解凍またはデコードの対象となる圧縮ファイルは、"StuffIt"、"BinHex"、"CompactPro"、"AppleLinkPackage"、"ZIP"、"ARC"、"UnixCompress"、"UUCode"、"MacBinary"、"TAR"、"MIME" 計 11 種類です。

更に、バージョン 4.5 の"StuffIt Engine Ⅰ"をインストールしている場合、"MIME/Base64"、"MIME/BinHex"、"LHA"、"暗号化された ZIP"、"ShrinkWrap 3.0"を"StuffIt Engine Ⅰ"を利用して解凍することが可能です。

"StuffIt Engine Ⅰ"、"StuffIt Deluxe Ⅰ 4.0"、"DropStuff w/EE Ⅰ 4.0 Installer は、いずれも"ALADDIN SYSTEMS, INC.の製品であり、登録商標です。

LHarc、LHA 形式のアーカイブを扱う場合には、"MacHLA"か"LHA Expander"等、LHA を扱うことができるアプリケーションを用意する必要があります。

StuffCenter に LHarc、LHA 形式のアーカイブをドラッグすると、"MacLHA"か"LHA Expander"を起動して該当ファイルを解凍することが可能です。

LHarc 形式は-lh1-、LHA 形式は-lh4-、-lh5-方式で圧縮されたアーカイブファイルです。

"MacLHA"は石崎 一明 氏、"LHA Expander"は Masanori Sekino 氏が開発したフリーウェアです。

イメージファイルを扱う場合には、"ShrinkWrap"か"Disk Copy"等、イメージファイルを扱うことができるアプリケーションを用意する必要があります。

StuffCenter に ShrinkWrap 版イメージファイル、Disk Copy 版イメージファイルのアーカイブをドラッグすると、"ShrinkWrap"か"Disk Copy"を起動して該当ファイルを解凍することが可能です。



左から順に、LHA 形式のアーカイブ・ ShrinkWrap 版イメージファイル・ Disk Copy 版イメージファイルのアイコン表示例

StuffCenter を任意のフォルダにコピーして下さい。

StuffCenter が起動すると、保存されているフォルダ内に"StuffCenter Folder"という名称のフォルダを自動生成しますので、デスクトップにはオリジナルを置かないで下さい。

StuffCenter のエイリアスを作り、デスクトップに置いておけば、ファイルのドロップする際に便利です。

StuffCenter をダブルクリックで起動して下さい。

以下、表示される設定用ウィンドウの各ボタン操作について説明します。



a. 解凍ファイルの保存先フォルダ選択ボタン：

同ボタンを押下すると、解凍したファイルを保存するフォルダを選択できます。

初期値では、StuffCenter が保存されているフォルダと同じ階層に "StuffCenter Folder" が作成され、同フォルダが保存先として設定されています。

フォルダを選択する際、選択ダイアログ内のリストでは該当フォルダのアイコンを直接選択して下さい。該当フォルダの内部に入った状態で選択した場合、正常に処理ができない場合があります。

b. BinHex ファイルのクリエータ選択ボタン：

BinHex ファイルにエンコードした際に作成されるテキストファイルのクリエータを指定することができます。初期値では "BBEdit" に設定されています。

c. 圧縮先ポップアップメニュー（上段）：

- ・ 圧縮先同期：オリジナルファイルと同じ階層のフォルダに圧縮済ファイルを保存します。
- ・ 圧縮先選択：オリジナルファイルを圧縮する都度、保存先フォルダを選択します。

d. 解凍先ポップアップメニュー（下段）：

- ・ 保存先指定：「変換ファイルの保存先フォルダ選択ボタン」で指定したフォルダに解凍後のファイルを保存します。
- ・ 保存先同期：圧縮ファイルと同じ階層のフォルダに解凍済ファイルを保存します。
- ・ 保存先選択：圧縮ファイルを解凍する都度、解凍先を選択します。

e. 自己解凍型チェックボックス：

ファイルを圧縮する際、自己解凍型(.sea)の形式で圧縮します。

f. BinHex 化チェックボックス：

ファイルを圧縮した後、BinHex 形式のファイルでデコードします。

g. 圧縮後削除

対象ファイルを圧縮した後、オリジナルのファイルを削除します。

h. 解凍後削除

圧縮済ファイルを解凍した後、圧縮済ファイルを削除します。

i.保存ボタン：

変更した設定情報を更新した後に終了します。

j. キャンセルボタン：

変更した設定情報を更新しないまま終了します。

k. 変換ボタン：

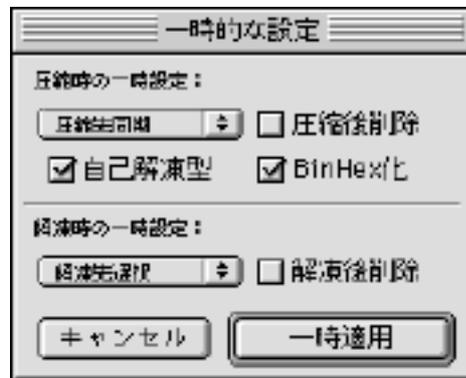
単独のファイルを個別にエンコードまたはデコードすることができます。

#### 4. 操作方法について

ファイルを圧縮・解凍する場合には、StuffCenter のアイコンに該当ファイルをドラッグ後にドロップするか、StuffCenter を起動後に「変換」ボタンを押下して対象となるファイルを選択して下さい。

StuffCenter のアイコンに該当ファイルをドラッグする際、オプションキーを押下しておくで、一時的に設定値を変更したうえで圧縮・解凍を実行できます。

オプションキーを押下すると、元の設定値を反映した専用画面が表示されます。同画面で任意に設定を変更すれば、元の設定値に影響を与えることなく、一時的な設定値で処理を実行できます。なお同機能は、複数のファイルを一括して処理する際、個々のファイルに共通して適用されます。



StuffCenter のアイコンに該当ファイルをドラッグする際、コマンドキーを押下しておくで、圧縮ファイルを解凍する際、アーカイブタイプを変更することができます。

コマンドキーを押下すると、「圧縮形式コンバート」専用画面が表示されます。同画面で「実行」ボタンを選択すると、通常圧縮は自己解凍、自己解凍は通常圧縮形式にそれぞれ自動的に変換できます。

なお同機能は、複数のファイルを一括して処理する際、個々のファイルに共通して適用されます。



## 5. StuffCenter の便利な活用法

StuffCenter はドロップレットタイプのアプリケーションですので、デスクトップ上に置いておくと便利です。しかしデスクトップは他のウィンドウで隠れてしまう欠点があるため、他のオンラインソフトと組み合わせると便利に活用できます。以下、StuffCenter 愛好者の皆さんから頂いた Tips を紹介しますので参考にして下さい。

また、「こんな使い方が便利！」というアイデアがありましたらお便り下さい。

### (1) FinerPop のアイテムとして登録する

MacOS 8のコンテキストメニューをエンハンスするコントロールパネル"FinerPop"をインストールし、専用アイテムとして登録します。圧縮・解凍したファイルをクリックした後、コンテキストメニューから StuffCenter を選択すれば、快適な操作性を実現できます。

<http://bounce.to/turly>

<http://www.geocities.com/SiliconValley/Bay/2573/>

### (2) DragThing のアイテムとして登録する

最強のローンチャソフト"DragThing"のアイテムに StuffCenter します。後は、圧縮・解凍したいファイルやフォルダをアイテムにドラッグするだけ。頻繁に起動するソフトが多いユーザにはお勧めの活用法です。

<http://www.dcs.gla.ac.uk/~james/dragthing.html>

## 6. トラブルシューティング

- a. StuffIt 4.5 をインストールした直後、StuffCenter がうまく動作しなくなった場合はデスクトップを再構築すると正常に戻るようです。
- b. StuffCenter のメイン画面に配置されているポップアップメニューに変な文字が表示される機能拡張フォルダに内蔵モデム用の拡張機能ファイルがインストールされていると、"JIS Keyboard"等の余計な文字が表示されるようです。同現象を回避する方法は、該当拡張機能ファイルを削除する他、手段はありません。

## 7. 開発履歴

1998 年 10 月 19 日 バージョン 1.7.2

- (1) 一部の設定で正常にファイルを圧縮できない不具合を修正
- (2) DragThing 2.6 でフォルダアイコンをドロップできない不都合を改善

1998 年 10 月 19 日 バージョン 1.7.1

- (1) 一部未対応だった Navigation Service に対応し完全移行完了
- (2) エンコード・デコードの手順を一部改善

1998 年 10 月 10 日 バージョン 1.7

- (1) Navigation Service 関連の処理を改善
- (2) MacOS 8.5 環境でドロプレット処理が正しく実行されるよう改善
- (3) アピアランスとの親和性を向上
- (4) PowerPC 環境に特化した提供形式に変更
- (5) CodeWarrior 3.1 (Pro3)に移行しコンパイル・リンクを実行
- (6) マニュアル作成ツールを Office98 に移行

1998 年 07 月 14 日 バージョン 1.6

- (1) Navigation Service(MacOS 8.5)に対応
- (2) Universal Headers 3.1 に準拠 (MacOS X 対応への準備)
- (3) CodeWarrior 3.0.1 (Pro3)に移行しコンパイル・リンクを実行

1997年12月24日 バージョン 1.5

- (1) アーカイブファイルの圧縮タイプを変更するオプションを追加

1997年12月21日 バージョン 1.4

- (1) オプションキー押下により一時的な設定が可能となる機能を追加
- (2) 操作マニュアルに便利な活用法を追加

1997年12月14日 バージョン 1.3.1

- (1) 圧縮先選択オプションにて正常に圧縮タイプを指定できない不具合を修正

1997年12月11日 バージョン 1.3

- (1) 解凍時にオリジナルファイルを削除するオプションを追加
- (2) 圧縮時にオリジナルファイルを削除するオプションを追加
- (3) 圧縮時に圧縮先のフォルダを指定するオプションを追加
- (4) 開発環境を CodeWarriror Professional 2 に変更しコンパイル・リンクを実行

1997年11月30日 バージョン 1.2

- (1) 解凍時の随時選択方式にてキャンセル処理の不具合を修正
- (2) 個別のファイルを圧縮できるよう圧縮プロセスを改善
- (3) Stuffit 4.5 に対応し、4種類のアーカイブを解凍できるよう改善
- (4) イメージファイルのアーカイバを解凍できるよう改善

1997年11月12日 バージョン 1.1

- (1) 解凍時の保存先を指定する方法を拡張し、随時選択方式を追加
- (2) LHA形式のアーカイバを解凍できるよう改善
- (3) フォルダのチェック方式を解凍先の選択により区別するよう改良

1997年09月14日

ファーストリリース

